

令和3年度（2021年度）事業報告

本財団で行う研修及び研究

本財団は、設立以来専ら精神分析の研修、研究事業を実施することによりわが国の精神保健の向上のため努力し、成果を上げています。本年度もこれらの方針を継続し、下記事業を実施しました。医師等に対する精神分析および精神分析療法に関する研修事業として、通年セミナー14件（含ワークショップ3件、新規セミナー1件）、単発セミナー7件（含新規セミナー1件）、および出版・広報事業1件を実施しました。

I. 研修事業

1. 通年セミナー

(1) 小寺精神分析的セラピーケースセミナー（第2期）

昨年から始まった精神分析的セラピーのケースセミナーです。主に週一回の成人の精神分析的セラピーのケースを、ある程度実績を持つ中堅のセラピストの方々にご提示願ひ、それに対してシニアの臨床家がコメントをし、フロアと討論しました。ファシリテーターは藤山直樹が務めました。いま現実にどのような精神分析的なケースが日本で展開しているのかに触れながら、参加者の臨床実践や訓練に何らかの示唆やヒントを生むことができればと考えました。ハイブリッド設定（現地開催とウェビナーの併用）で行ったので、COVID19 禍でも開催可能で遠隔地の方々にとっては、ナマの実践的な討論に触れるよい機会になったと思います。なお守秘の点から、誓約書及び資格書類のご送付をお願いしました。

対 象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っており、守秘義務を負っている方。

開催期間：2021年5月～2022年3月

第3土曜日原則、午後7時～9時、全10回

5/15, 6/19, 7/17, 9/18, 10/16, 11/20, 12/18, 2022年1/15, 2/19, 3/19

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター/TKP新宿西口カンファレンスセンター

Zoom Webinar ハイブリッド

参加費：50,000円

参加人数：78名

運営方法：毎回、症例提示をしていただき、シニアの先生方に討論をお願いしました。

司会は藤山直樹が担当

企画及び担当：藤山直樹

| 日 時 | コメンテーター | 症例提示者 |
|--------|---------|-------|
| 5月15日 | 妙木浩之 | 小澤和輝 |
| 6月19日 | 小川豊昭 | 堀川聡司 |
| 7月17日 | 岡野憲一郎 | 半田 聡 |
| 9月18日 | 池田政俊 | 富田悠生 |
| 10月16日 | 吾妻 壮 | 小林 陵 |
| 11月20日 | 富樫公一 | 茂市耕平 |
| 12月18日 | 岡田暁宜 | 小尻与志乃 |
| 1月15日 | 十川幸司 | 吉沢伸一 |
| 2月19日 | 北山 修 | 長沼佐代子 |
| 3月19日 | 松木邦裕 | 大野由美子 |

(2) 体験グループセミナー (第 27 期)

目的：精神分析、力動的精神療法の方向付けを基本とした、グループダイナミックスの学習、自己理解の深化をワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的とします。

対象：精神分析セミナー、精神分析的心理臨床セミナーならびにそれに相当するセミナーの受講者
修了者ですでに精神療法の経験をもつ方を優先します。

基本を2年コースと考えているので原則として2年目の参加者を優先します。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2021年5月～2022年3月、月1回

第4金曜日原則、午後7時～8時30分、全10回

5/28, 6/25, 7/16, 9/24, 10/22, 11/26, 12/24, 2022年1/28, 2/25, 3/25

場所：Zoomによるオンライン開催(5月・6月・7月・9月・1月・2月)

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター(10月・11月・12月・3月)

参加費：50,000円

参加人数：23名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(3) グループ理論研究セミナー (第 26 期)

目的：精神分析、力動的医学を基礎におく集団精神療法の臨床または指導者の養成を、理論的学習、とりわけ事例をめぐるスーパービジョンを通して達成することを目的とします。

対象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある、守秘義務をもつ専門家で、ことに事例提供が可能な方を原則とします。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2021年5月～2022年3月、月1回

第2土曜日原則、午後2時～5時 全10回

5/8, 6/5, 7/10, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11, 2022年1/8, 2/12, 3/12

開催場所：Zoomによるオンライン開催(5月～10月、2月・3月)

TKP市ヶ谷カンファレンスセンターとZoomによるハイブリット開催(11月～1月)

参加費：60,000円

参加人数：37名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(4) 力動的家族療法セミナー (第 19 期)

目的：講義の内容は、参加者のご意見を反映させ、毎年変更を加えています。今年も体験的学習に力を入れるため、ロールプレーによる実践的なセッションを3回実施します。

対象：個人精神療法に関する何らかの研修(セミナーあるいはスーパービジョンなど)を受けているか、受けたことのある方。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・渡辺俊之・岩井昌也・北島歩美

開催期間：2021年6月～2022年3月、月1回

第4土曜日原則、午後2時～5時 全10回

6/26, 7/24, 8/28, 9/25, 10/16, 11/27, 12/25, 2022年1/22, 2/26, 3/26

開催場所：Zoomによるオンライン開催

参加費：45,000円

参加人数：8名（7/24のみ参加：2名）

企画者：中村伸一

担当委員：中村伸一

(5) 小寺臨床講読セミナー

—現代クライン派の系統的理解（V期）—：1. 基本概念と展開

目的：系統的に論文講読に取り組む演習形式セミナーで、本年度より第V期講読セミナーを開講しす。メラニー・クラインは、現代の精神分析の重要な源泉の一つであり、優れた直観と観察に基づいて多くの独創的な見解を展開しました。しかし原著は、十分に背景を知らずに読んでも理解し難いことも事実です。今期は、ポジション論を展開する第二次世界大戦終戦までのクラインの論文を、一新された訳を用いて読み進めます。邦訳のある文献も含めて、初学者の方でも参加しやすいようにしました。経験ある方が再度勉強する機会にもなります。本年度からの参加も可能、通年でZoom参加が可能です。

対象：テキストを読んで毎回参加し、年に何回かレジュメ作成と発表ができる方

講師：福本 修・平井正三（特別講師）

開催期間：2021年4月以降の第2金曜、原則として午後7時～10時、全12回

4/9, 5/14, 6/11, 7/9, 8/13, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 2022年1/14, 2/11, 3/11

開催場所：Zoomによるオンライン開催

参加費：60,000円

参加人数：18名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

(6) 小寺臨床講読ワークショップ

—フロイトの系統的理解（VI期）—：1. 精神分析の発見（1920-1939）

目的：本ワークショップでは、参加時間の中でフロイト読解を体験し、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指します。本年度は、ジョージ・マカーリ『心の革命——精神分析の創造』（みすず書房）を読み進めつつ行ないます。2021年度は、第VI期の初年度となります。3年間で全体をカバーする予定です。通年でZoom参加が可能です。

対象：テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問いません。

講師：福本 修（余裕があれば時に特別講師）

開催期間：2020年4月以降の第三金曜、午後7時～10時、全12回

4/16, 5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 2022年1/21, 2/18, 3/18

開催場所：Zoomによるオンライン開催

参加費：60,000円

参加人数：16名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

(7) 精神分析的な心理療法セミナー (第13回)

目的：精神分析的な心理療法の事例検討会です。私たちの多くは、基本的には週一回の頻度を始めとする精神分析的ないしは精神力動的な心理療法の実践に取り組んでいます。その中で日々経験している難しさや限界、臨床的な成果、さらには精神分析的に考えることの大切さと手応え、などを皆で確認し、共有したいという目的でこのセミナーは企画されました。

対象：中堅以上の心理療法家で、十分な臨床経験と研修歴をお持ちの方。

講師：中村留貴子、深津千賀子、妙木浩之、吾妻壮、岩倉拓 他

開催期間：2021年5月～2022年3月

原則として、第一金曜日、午後7時30分～9時30分 全11回

5/7, 6/4, 7/2, 8/9(2回分), 9/3, 10/1, 12/3, 2022年1/10(2回分), 2/4

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド

参加費：60,000円

参加人数：12名

企画者：中村留貴子

担当委員：岡野憲一郎

(8) 臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー アドバンストコース (第4回)

目的：このセミナーは、産業メンタルヘルス領域で働くための実践能力の養成を目的とします。アドバンストコースは、ベーシックコース修了者を対象としたコースで、事例検討を通して、産業メンタルヘルスの考え方や関わり方を学びます。

事例検討は、精神分析的および精神力動的な考え方に基づいたメンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ KEIO Employee Assistance Program）の実践活動で得られた知見に基づいて行いますが、検討対象とするのは産業領域に限定しません。日々の臨床実践や現場で困っていることについても積極的に議論してきました。

対象：2020年度までの「臨床家のための、産業メンタルヘルスセミナー」、「臨床家のための産業メンタルヘルス実践セミナー」修了者

講師：白波瀬丈一郎（精神科医：東京済生会中央病院）、三浦有紀（公認心理師・臨床心理士：東京済生会中央病院）

開催日時：2021年4月から2022年2月まで月1回第2日曜日

4/11, 5/9, 6/13, 7/11, 8/8, 10/10, 11/14, 12/12, 1/9, 2/13

全10回。9月は休み。10:00～12:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド

参加費：30,000円

参加人数：12名

企画者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

※臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー ベーシックコース (第8回) は開催を中止しました。

(9) 精神分析志塾 (第6回)

目的：本志塾は開講6年目となります。志ある中堅臨床家たちの達成をめざし、限定メンバーによるクローズド・ワークショップの形態をとります。精神分析や精神分析的な精神療法/心理療法での力量向上とともに、分析的経験から濃く学び、創造力を高めることを目指します。

対象：中堅臨床家（臨床経験7年以上[院生修士時代を除く]、精神分析学会一般演題の発表経験を有す）

講師：松木邦裕

開催期間：2021年4月～2022年3月 全10回

4/4, 5/9, 6/6, 7/4, 9/5, 10/3, 11/14, 2022年1/9, 2/6, 3/6

10:30～15:50（休憩時間を含む）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム（4月・11月・1月）

Zoomによるオンラインと会場のハイブリッド開催（5月～10月、2月・3月）

参加費：73,000円

参加人数：21名

企画者：松木邦裕

担当委員：奥寺 崇

(10) 「子どもの心の発達セミナー 思春期青年期と発達障がい」(第6回)

目的：現代の思春期青年期の心性についての理解を分析心理学と精神分析の視点から深めることができればと思います。また、発達障がい特性をもつ思春期青年期の人たちの心の発達にとって、心理療法や精神分析、及び、私たちの専門性がどのように役立ち得るのか、ユング派の岩宮恵子先生、そして、クライン派の西村理晃先生から学び、一緒に探索する機会を持ちます。

対象：医療、福祉、教育、司法領域で児童青年に関わっている専門家、近接領域の専門家、大学院生、事例の守秘を厳守できる方。

講師：岩宮恵子・西村理晃

司会：脇谷順子

開催日時：1回目 11月3日（水・祝）13:00～17:00

2回目 12月19日（日）15:00～19:00

2回参加希望の方を優先します。

開催場所：Zoomによるオンライン開催

参加費：12,000円（1回のみ参加7,000円）

参加人数：11/3：47名、12/19：51名

企画者：脇谷順子

担当委員：脇谷順子

(11) 乳幼児観察セミナー (第6回)

目的：乳幼児観察は精神分析の基礎訓練だけでなく、こどもと関わる専門職にとっても大きな貢献と知見を与えます。今年度は、乳幼児観察の臨床的応用として、学校臨床、一般臨床に応用する乳幼児観察について論じるつもりです。乳幼児観察は奥深く、臨床家に多大な貢献を為すことが知られていますが、さらに乳幼児観察の重要性を再確認し

たいと思います。また、本セミナーは我が国で行われている乳幼児観察に関する研究会の中心となるようなフィールドとなることを目論んでいます。

対 象：乳幼児観察の終了者、乳幼児観察に関心を持つ人であれば、職種は問いません。

講 師：木部則雄・山口義江

司 会：鈴木 龍・脇谷順子

討 論 者：脇谷順子・鈴木 龍

開催日時：2021年9月26日（日）、2022年3月20日（日）

13：00～17：00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームと Zoom によるハイブリット開催

参加費：12,000円

参加人数：32名

企画者：木部則雄

担当委員：木部則雄

(12) 自我心理学臨床セミナー：現代の自我心理学（第6回）

対 象：自我心理学に興味があり、臨床を行っている方（経験の多寡は問いません）

講 師：吾妻 壮・東 啓悟・鳥越淳一・妙木浩之

司会・進行：妙木浩之

開催日時：2022年1月29日（土）午後、1月30日（日）10：00～17：00

開催場所：Zoom によるオンライン開催

参加費：18,000円

参加人数：19名

企画者：妙木浩之

担当委員：岡野憲一郎

(13) 英国独立学派の講読セミナー（第3回）

目 的：3年目となる今回はウィニコットを取り上げます。狭義のウィニコッティアンではない立場から見て浮かび上がる「ウィニコット臨床の戦略性」の理解のために、元々は現代フロイト学派という「部外者」であったJ.エイブラムによって書かれた『ウィニコット用語事典』をテキストに、関連する文献を読みます。

各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートします。

開催日時：2021年4月以降 原則第4日曜日 全11回

4/25, 5/30, 6/27, 7/25, 8/22, 9/28, 10/24, 11/28, 2022年1/23, 2/27, 3/27

開催場所：クリニックおくでら（小田急小田原線 経堂駅 徒歩5分）

講 師：奥寺 崇

対 象：フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）セミナーの受講経験がある専門家

参加費：40,000円

参加人数：8名

企画者：奥寺 崇

(14) 力動的理解にもとづくロールシャッハ解釈 (新規)

目的：本セミナーでは、小此木、馬場による解釈技法を足がかりにしながら、ロールシャッハ事例を紐解いていきます。毎回、事例提供者のプレゼンテーションに対して、講師2名が見立てと理解を示します。事例提供者を交えた3名の討論に、セミナー参加者が加わることで、多面的な事例解釈が展開することでしょう。

開催日時：2021年7月25日、8月29日、9月12日

13:30~16:30

開催場所：Zoomによるオンライン開催

講師：吉村聡・北村麻紀子・人見健太郎

対象：ロールシャッハ法の基本を取得している方（経験年数は問わない）

参加費：18,000円

参加人数：30名

企画者：吉村聡

担当委員：吉村聡

2. 単発セミナー

(1) 精神分析—医学生・研修医セミナー (第14回)

目的：臨床医をめざす医学生・研修医に、人間の心を深く見つめる精神分析の世界について、充実した内容をコンパクトに解説するものです。

開催日時：2021年10月31日(日) 9:30~19:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム/Zoomによるハイブリッド開催

講師：北山修・白波瀬丈一郎・高野晶・藤山直樹・池田暁史 他

対象：医学生、および研修医・専攻医、(初期/後期研修医、医学部5・6年生を優先)

内容：レクチャー

参加費：医学生6,000円、研修医8,000円

参加人数：27名(医学生：4名 研修医・医師：23名) 会場9名、オンライン18名

企画者：池田暁史

担当委員：池田暁史

(2) 関係性精神療法セミナー(第11回)

「精神分析の学び方：関係論編」

目的：今年、精神分析を学ぶということがどのようなことなのかについて、関係論の立場から考えてみたいと思います。関係論の立場からの訓練や学習は、伝統的な精神分析の訓練や学習と異なるのだろうか、それとも、同じなのだろうか。精神分析を実践する者は、初学者から経験者まで、必ず何らかの訓練や学習に触れてきたはずであります。フロアの先生方とともに、それぞれの体験を共有しながら精神分析の学び方について考えてみたい。今回は、京都の精神分析的な心理療法の研究所KIPPで訓練を受けられ、卒業後も積極的に精神分析実践を探求しているA&C中之島心理オフィスの長川歩美先生を指定討論にお招きし、さまざまな学習の場所や方法を広く視野に入れながら議論を深めていきたいと考えています。

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

開催日時：2021年7月4日（日）午前10時～午後3時

開催場所：Zoomによるオンライン開催

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

発 表 者：富樫 公一（甲南大学）、吾妻 壮（上智大学）、岡野憲一郎（京都大学）

指定討論：長川歩美（A&C 中之島心理オフィス）

司 会：岡野憲一郎

参加費：5,000円

参加人数：41名

企 画 者：岡野憲一郎

担当委員：岡野憲一郎

（3）『タヴィストックセミナー』（第13回）

— 紡ぐ物語としての精神分析—

目 的：今回のセミナーでは、精神分析における心的舞台で生じる物語について、対象関係論におけるその意味、意義について、さらに議論を深めたいと思います。さらに、患者の無意識は誰が知っているのかについて、技法的な側面も含め、フロイト、クライン、ビオン、ペレルバーグなどに加え、私自身のケースからさらに考察を加えます。

（2020年12月から延期され開催）

開催日時：2021年12月26日（日）午後5時～9時

開催場所：Zoomによるオンライン開催

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

講 師：阿比野宏（英国精神分析協会精神分析家、タヴィストック・クリニック成人部門長）

司 会：福本 修

討 論：木部則雄

参加費：6,000円

参加人数：59名

企 画 者：福本 修

担当委員：福本 修

（4）学際的ワークショップ「精神分析の知のリンクにむけて」

— 第6回『女性性・男性性』—

目 的：第六回のワークショップは、「女性性・男性性」と題して、精神分析にとって古くて新しい問題である性差を取り上げます。発表者として清水知子氏、立木康介氏、小川公代氏をメインゲストとしてお招きし、指定討論は、佐藤朋子氏、鈴木菜実子氏が行います。司会は当ワークショップのコーディネーター藤山直樹、ならびに企画者である十川幸司が担当します。

ハイブリッドで開催いたします。

開催日時：2021年10月3日（日）13:00～17:00

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター/Zoom ハイブリッド

参加対象：精神分析に関心をもつ方はどなたでも参加できます。

発表者：清水知子（筑波大学）
：立木康介（京都大学）
：小川公代（上智大学）
討論者：佐藤朋子（金沢大学）
鈴木菜実子（駒澤大学）
司会：藤山直樹（個人開業）、十川幸司（十川精神分析オフィス）
参加費：3,000円
参加人数：86名
企画者：十川幸司
担当委員：十川幸司

（5）心理臨床家のための力動的精神病理学入門 5

開催日時：2022年3月21日（月・祝）11：00～17：00
開催場所：Zoomによるオンライン開催
参加対象：臨床心理士・精神科医
講師：妙木浩之・渡邊衡一郎・吉村聡
司会：加茂聡子
参加費：5,000円
参加人数：38名
企画者：妙木浩之
担当委員：妙木浩之

（6）初回面接入門：力動フォーミュレーションとビデオ録画（第2回）

目的：ビデオによる面接の研究および訓練のためのディスカッション、そして並行して見立てのための力動フォーミュレーションの訓練を行ってきた先生方を中心に、午前午後にわたって、それら二つを組み合わせ、単発のセミナーを行います。見立てをたてながら面接をどう組み立てていくのか、あるいは逆に面接の中で分かることはケースの見立てにどのような影響を及ぼすのか、などを議論して、最後に面接のやりとりとケース概要からわかることを立体的に組み合わせる試みを行います。

開催日時：2022年2月23日（水・祝）10：00～16：30
開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム/Zoomによるハイブリッド開催
講師：妙木浩之他
司会・進行：加茂聡子
参加費：8,000円
参加人数：24名
企画者：妙木浩之
担当委員：妙木浩之

(7) 力動的心身症臨床セミナー：入門（新規）

目 的：心身症臨床の歴史を振り返り、現在の力動的な心身症臨床について紹介し、理解を深めたいと思います。

対 象：心身症に関心があり、臨床経験を有する方。

講 師：加茂聡子・高野晶

司 会：岡田暁宜

討 論 者：庄司剛・平子雪乃

開催日時：2021年9月23日（木・祝）13：00～16：30

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム/Zoomによるハイブリッド開催

参加費：5,000円

参加人数：41名

企画者：岡田暁宜

担当委員：岡田暁宜

※力動的家族臨床入門（第4回） → 講師の都合により中止しました。

II. 出版・広報事業

ホームページの充実、名簿の整理及び今後のメールによる情報発信の準備
財団が過去に行ったセミナーの内容をもとにした出版の構想、など。

担 当：岡野憲一郎